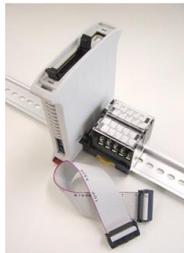


ログファイル機能追加

ログファイル書き出し機能追加でさらに強力なツールに進化しました！

水位、温度、湿度、光量、重量、ひずみ量、電流量

MuWiC に入力されたアナログ値に時間情報を付加してテキストファイルに保存します。保存されたファイルはエクセルなどの表計算ソフトに読み込んでグラフにするなどの利用が可能です。



MuWiC コントローラを簡便で安価なデータロガーとして使用することができます。

たとえば

データを収集しながらアナログ入力値を使って比較制御をしたい場合、安価な MuWiC コントローラと MuWiC Software のログファイル機能の組み合わせは最適な選択肢です。



MuWiC Software とは

MuWiC Software は MuWiC コントローラ専用の設定用ツールです。PC にインストールし、USB ケーブルで MuWiC コントローラと接続します。接続にはドライバーのインストールとポートの設定をするだけなので、とても簡単です。

設定完了後、コントローラは単独で動作します。

PC と接続した状態で、センサーから受け取っているアナログ入力値をモニターすることもできます。

設定

モニター

ログ作成

ログファイル機能の特長

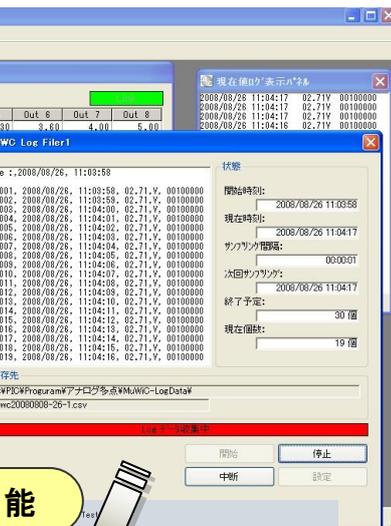
サンプリング間隔は 1 秒から サンプリング間隔は最大で 24 時間 59 分 59 秒を指定できます。1 日 1 回というサンプリングが可能です。

選べる 2 つの終了モード 個数カウントモードと、終了時刻指定モードが選択できます。個数カウントモードの場合、1 ~ 65535 個までの任意のサンプリング回数を、終了時刻指定モードの場合、指定した終了時刻に達するとサンプリングをログファイルは自動的に終了します。(ただし終了時刻前にサンプリング回数が 65535 回に達した場合はその時点でサンプリングを終了します。)

保存ファイル名、保存先指定 ネットワーク上の Windows 共有フォルダへも保存できます。

簡単！ログファイル機能の使い方:

1. MuWiC Software のメニュー[ツール(T)]→[ログファイル(F)]で「MWC ログファイル」画面を開きます。
2. まず設定を行います。[設定]ボタンをクリックし「ログファイル設定」画面上で設定を行ってください。
3. ログファイル機能を開始するには入力モニターが開始されている必要があります。
MuWiC を PC に接続し、入力モニターパネルで現在値入力モニターを開始します。
4. 入力モニターが開始していることを確認し、MWCLogFiler1 の開始ボタンをクリックしてください。



ログファイル設定画面

MuWiC Software のその他の機能

機能 1: アナログ入力電圧モニター

アナログ入力電圧モニターで、センサーから現在 MuWiC に入力されているアナログ値を数値表示します。Ver.1.5 では表示を見やすく大きな文字にしました。

クリップボードにコピー機能

「クリップボードへコピー」ボタンを押すと表示中の入力値をクリップボードにコピー、それを設定編集画面にペーストできます。クリップした値は「クリップボードにコピー」ボタンの下のテキストボックスに表示され、そこで編集を行なうこともできます。編集した値は改めてコピーペーストすることで設定編集に反映することができます。

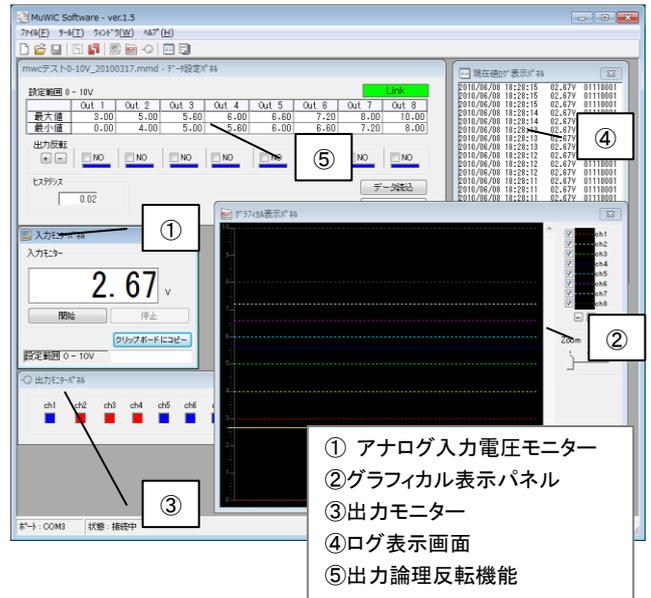
使用するセンサーの出力電圧に合わせた入力値表示

0-5V、0-10V、4-20mA の設定にあわせて表示も切り替わります。

機能 2: グラフィカル表示パネル

MuWiC に設定する値を色分けされた線で表示します。また、入力電圧モニター中は値がレベルメーターとして表示されるので設定値との比較を視覚的に行なえます。Ver.1.5 の新機能として表示の拡大に対応しました。

- **現在値をレベルメーターで表示。**
アナログ入力動作中の時、現在値をレベルメーターで表示します。画面上に条件表示線とともに表示されるので、設定の範囲と入力電圧のレベルを視覚的に確認できます。
- **各チャンネルの条件設定表示を ON/OFF 可能。**
条件設定表示線は、チャンネルごとに表示、非表示を切り替えられますので複数のチャンネルに同じ値を多重に重なって設定した場合の確認も容易です。8チャンネル全てを 1 クリックで ON/OFF するボタンも装備しています。
- **線色をカスタマイズ可能。**
条件設定表示線の線色は自由にカスタマイズができます。カスタマイズした色設定を保存することができます。



機能 3: 出力モニター機能

アナログ入力電圧モニター動作中、コントローラーの出力の状態を赤いマークで表示します。

機能 4: ログ表示機能

ログファイラ機能のほかにログ表示機能を備えています。こちらはファイルに書き出すことはできませんが、1 秒より短い間隔での表示を行ないます。

機能 5: 出力論理反転

出力論理反転は各チャンネル個別に設定できます。出力反転チェックボックスにチェックマークを入れることで判定結果に対する出力論理が逆になります。MuWiC コントローラーは、初期値で NO (常時開) に設定されています。NC (常時閉) に設定した場合、条件成立で OFF になります。

機能 6: 設定データへのファイル保存と読み込み

設定した条件設定データは、ファイルに保存できますので、条件変更のための再設定や複数台の MuWiC に同じ設定を行なう時などに便利です。

機能 7: MuWiC への設定データの書き込みと読み込み。

USB ケーブルで MuWiC コントローラーとパソコンを接続し、MuWiC Software 上で設定した条件設定データを MuWiC コントローラーに転送できます。(書き込み) また、既に MuWiC コントローラーに転送済みの設定データを MuWiC コントローラーからパソコン側に転送することができます。(読み込み)

注意事項:

1. MuWiC Software は MuWiC コントローラー専用です。
2. 入力、出力モニター設定のサンプリング時間は OS の機能に依存するため、時間間隔の正確性を保障するものではありません。

MuWiC Software は弊社ホームページから無償でダウンロードしてお使いになれます。

<http://www.unimation.co.jp/>

動作環境

品名・シリーズ名	アナログ多点コンパレータ MuWiC サポートソフト MuWiC Software
通信機能	Silicon Laboratory 社製 CP210x USB to UART Bridge Controller を使用した RS-232C 通信
動作環境	Windows 動作条件を満たす USB ポートを搭載した PC Windows XP SP2 以上、Vista、7 いずれも日本語版

発売元・発行者

USI 株式会社 ユニメーションシステム

神奈川県横浜市磯子区西町11-8

TEL 045(751)5755 / FAX 045(752)5660

URL : <http://www.unimation.co.jp/>

E-mail : info-desk@unimation.co.jp